

令和 6 年度防災活動報告

大矢知地区自主防災協議会 令和 7 年 3 月発行

災害に
備える

能登半島では、元日に発生した地震に続き 9 月の豪雨災害で甚大な被害が発生。改めて、自然災害に備える必要を痛感する年になりました。

そのような中、9 月に保々地区で開催された、四日市市「市民総ぐるみ総合防災訓練」に当地区自主防災隊も参加しました。



「輪島市内河川氾濫」

通常総会開催



4 月 25 日(木)大矢知地区市民センターで、令和 6 年度総会を新旧防災隊長 45 名の出席で開催し、令和 5 年度事業・会計報告案、令和 6 年度事業・予算案等が賛成多数で承認されました。

防災隊長研修会

防災隊長が地域の防災リーダーとして活動して頂くために防災・減災に関する知識及び避難所開設体験等について研修を行いました。

① 防災教育センターでの研修

6 月 23 日(日)四日市市防災教育センター(北消防署内)で、無線機の取扱い説明・使用訓練、消防署員による防災に関する講話及び体験プログラムに参加しました。



「防災教育センター」

② 防災カルテ・マニュアル研修会

7 月 21 日(日)市民センターで、防災カルテ・防災マニュアルを使用して風水害、地震災害の危険区域の確認及び自主防災隊として、平時・災害時の活動等について学びました。



「研修風景」

③ 総ぐるみ総合防災訓練等説明会

8 月 18 日(日)市民センターで、無線通話訓練に続き、四日市市役所危機管理課職員から四日市市「市民総ぐるみ総合防災訓練」内容の説明を受け、当日の役割分担について協議・確認しました。



「地震防災センター」

④ 防災施設バス研修

12 月 15 日(日)静岡県地震防災センター(静岡市)及び浜松市防潮堤(一条堤)の見学体験を行いました。

・静岡県地震防災センターでは、地殻と地震のメカニズムや富士山による火山災害、津波のモデル実験等の説明を受けました。

・浜松市防潮堤では、中田島砂丘区間の堤防を見学しました。



「中田島砂丘区間堤防」

総ぐるみ総合防災訓練

9 月 29 日(日)保々小学校・中学校を会場とし、大規模(南海トラフ)地震を想定した、広域的な複合型の四日市市「市民総ぐるみ総合防災訓練」に自主防災組織北部ブロックの一員として参加、北部の特徴として、三岐鉄道避難や朝明配水池給水運搬訓練等も行いました。

●大矢知地区の訓練内容



「三岐鉄道避難訓練」



「朝明配水池で給水訓練」



「避難者受付訓練」



「体験ブースへの参加」

大矢知まつり防災展示

10 月 20 日(日)大矢知まつりにて、あさけプラザ美術室と体育館を利用して防災啓発活動の一環として、防災関連の展示、防災クイズ、避難所体験等を行い、約 430 名の来場者がありました。

●美術室



「自然災害パネル展示」



「非常用品展示」

●体育館



「テントルーム展示」



「避難所体験」

大矢知地区防災訓練

11 月 17 日(日)巨大地震に伴い、大矢知地区でも火災や建物の倒壊等の被害が発生したと想定し、午前 8 時より各町で安否確認訓練等を行いました。

午前 9 時 30 分からは、あさけプラザで、自治会員、防災隊長、消防分団、朝明中学校生徒等の協力を得て、総人数 270 名で防災訓練を行いました。

(詳細については、防災だより No. 17 に記載)

※防災訓練のご意見を多くの方から頂きましたので、今後の訓練に反映していきたいと思います。

【大矢知地区消防分団員さんの指導活動】



「消火放水訓練」



「応急救命訓練」



「会長挨拶」

各自治会の防災訓練

各自治会では、日頃から地域の備えとして防災訓練を行っています。

実施自治会	実施日	訓練内容
川北町自治会	令和6年度(延6回)	消防ポンプ操作、消火栓の取り扱い、AED操作訓練等
松寺連合自治会	令和6年6月9日	消火ホース操作、AED操作、簡易トイレ組立訓練等
蒔田第一自治会	令和6年11月10日	救急救命、AED操作訓練等
大矢知区9自治会	令和7年2月22日	避難所テント設営、薪ストーブでの炊出し訓練等



「消防ポンプ操作訓練」



「消火ホース操作訓練」



「AED操作訓練」



「炊出し訓練」

防災資機材の購入

四日市市防災活動補助金を利用して、防災活動に必要な防災資機材を自主防災協議会と各自治会で購入しました。

購入自治会等	購入資機材
自主防災協議会	簡易テント、ヘルメット、メッシュベスト等
蒔田第一自治会	ヘルメット
青木谷自治会	簡易テント
下さざらい町自治会	折り畳みリヤカー
十志町自治会	消火器、消火器収納箱、ヘルメット
9自治会共同	AED更新購入

【主な購入品】



「ヘルメット」



「折り畳みリヤカー」



「AED」

防災たよりの発行

「防災たより」は、災害のための情報を広く伝える広報誌として、防災・減災の重要な役割の一つとして、年3回発行しています。

- 令和6年7月 No.15「液状化現象について」
- 令和6年10月 No.16「南海トラフ地震臨時情報」
- 令和7年2月 No.17「防災訓練」を発行しました。



阪神・淡路大震災あの日から30年

地震は1995年1月17日午前5時46分にマグニチュード7.3の地震が発生。兵庫県淡路島北部を震源とする都市直下型地震は、街に甚大な被害をもたらし、6434人の尊い命が奪われ、4万3792人が負傷しました。



「倒壊した阪神高速道路」

震災を忘れてもいい。命を守る備えを忘れるな。

(被災者の言葉から)

震災はいつか、どこかで必ずまた襲ってくる。まずは自分の大切な人の命を守るために日頃の備えが大切です。



防災の備え

自分で、近所で、地域で、助け合うことが大事です!!

できていますか？ **日頃の3つの備え**

物の備え

- 数日分の水と食料
- 非常持出品の整理
- 災害時の必要品(着替え・懐中電灯・携帯電話等)

自宅の備え

- 家具転倒防止
- 耐震化
- 消火器・火災報知器設置

地域の備え

- 避難経路の確認
- ハザードマップの確認
- 近所同士の付き合い
- 防災訓練への参加

台風・豪雨時に避難情報から状況を正しく把握し、自らの判断で避難行動に移ることができるよう、避難情報「警戒レベル」について理解しておきましょう。

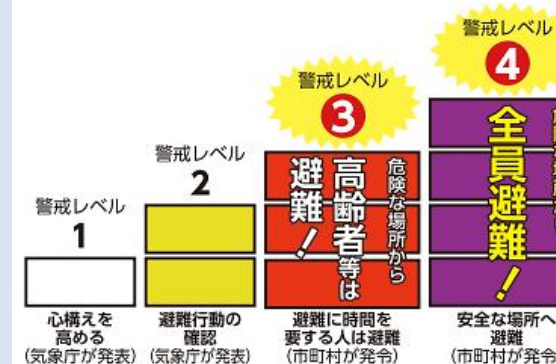


国土交通省・気象庁・都道府県から出される
河川水位や雨の情報(警戒レベル相当情報)

市区町村から出される避難情報(警戒レベル)

① 危険な場所から警戒レベル3で(高齢者等は避難)、警戒レベル4で(全員避難^{※1})です。

※1 警戒レベル4「全員避難」は、高齢者等に限り全員が危険な場所から避難するタイミングです。



■ 市区町村が出す警戒レベル3又は警戒レベル4(避難情報)で必ず避難しましょう
気象庁などから出る河川水位や雨の情報を参考に自主的に早めの避難をしましょう

避難情報等(警戒レベル)			河川水位や雨の情報(警戒レベル相当情報)	
警戒レベル	状況	住民がとるべき行動	避難情報等	防災気象情報(警戒レベル相当情報) 洪水の情報(河川ID) 土砂災害の情報(河川ID)
5	災害発生又は切迫	命の危険 直ちに安全確保！	緊急安全確保	5相当 氾濫発生情報 大雨特別警報(土砂災害)
~~~~~ <警戒レベル4までに必ず避難！> ~~~~~				
4	災害のおそれ高い	危険な場所から全員避難	避難指示	4 氾濫危険情報 土砂災害警戒情報
3	災害のおそれあり	危険な場所から高齢者等は避難	高齢者等避難	3 氾濫警戒情報 洪水警報
2	気象状況悪化	自らの避難行動を確認	大雨・洪水注意報	2 氾濫注意情報
1	気象状況悪化のおそれ	災害への心構えを高める	早期注意情報	1